

医学研究実施のお知らせ

函館五稜郭病院（呼吸器内科）では倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を得て以下の研究を実施しております。このお知らせは、「文部科学省・厚生労働省 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲載しています。

【研究課題名】

肺内外の腫瘍性病変に対する超音波内視鏡下穿刺術（EUS-B-FNA）の不快感、安全性、診断率を検討するための後ろ向き観察研究

【研究の概要】

●目的

肺内外の腫瘍性病変に対する気管支鏡検査において、EUS-B-FNA と EBUS-TBNA の不快感、安全性、診断率の比較し、【EUS-B-FNA の肺内外の腫瘍性病変の診断】における有用性について検討する

●対象となる方

西暦 2019 年 7 月 1 日から西暦 2021 年 11 月 30 日までの期間に函館五稜郭病院の呼吸器内科で超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法（EBUS-TBNA）または超音波内視鏡下穿刺術（EUS-B-FNA）の検査を受けた 173 名の患者様です

●研究期間

病院長承認日～2022 年 12 月 31 日までです。

●研究に利用する試料、情報等

- ① 臨床所見（年齢、性別）
- ② 画像所見（病変のサイズ（長径）、病変の気管/気管支または食道からの距離、病変の位置）
- ③ 気管支鏡所見（気管支鏡施行時のバイタルサインの変化、フェンタニルの使用量、ミダゾラムの使用量、キシロカインの使用量、検査時間、安全性（合併症））
- ④ 病理学的所見（病理診断）
- ⑤ 検査終了 2 時間後に施行した日本呼吸器内視鏡学会ガイドライン策定委員会が作成した気管支鏡検査に対するアンケート調査の結果

●プライバシーの保護

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報を削除し、当院で発行した匿名化 ID 番号を使用しますので個人情報が外部に漏れることはありません。

●研究の成果

この研究で得られた研究結果は学会や学術雑誌で発表を行う予定です。その際も個人が特定できる情報は利用しません。

【本研究に関する問い合わせ先】

この研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください

い。また、この研究に試料・情報を用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、ご連絡いただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果などからあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

函館五稜郭病院 呼吸器内科

研究責任医師：角 俊行

共同研究者：山田 裕一

共同研究者：渡辺 裕樹

共同研究者：関川 元基

共同研究者：松浦 啓吾

共同研究者：長久 裕太

電話：0138-51-2295（病院代表番号）

（対応時間：平日 9：00～17:00 呼吸器内科外来）